

共助

助け合いで自分たちの地域を守る

Point 1 自主防災組織を設立しよう

大規模地震が発生し、建物の倒壊などで中に閉じ込められたとき、多くの人命を救ったのは、家族や近隣の人々による助け合いでした。そのため、近所の高齢者の安否確認や避難誘導など、自主防災組織の役割は重要なものとして注目されています。

いざというときに備え、地域を守る自主防災組織の設立と活動を考えましょう。

※町では、自主防災組織の設立や、防災士の資格取得費用に対する補助制度を実施しています。詳しくは6ページに掲載しています。



Point 2

消防団は地域防災の要です

消防団は、地域に密着して防災に取り組む消防機関です。

団員は、自営業や会社員などの仕事をもちながら、日々訓練を行い、火災等の災害に出動する非常勤の消防士です。

有事の際は、消防署職員と連携して活動するなど、地域の安全・安心を担う重要な組織です。

近年は、大規模な災害の発生が懸念されているなか、団員の減少や高齢化が進んでおり、団員数の確保が課題となっています。

消防団では地域防災の担い手となる方を随時募集しています。

入団要件 18歳以上の者で身体強健であること



公助

災害に強い町を作る取り組み

Point 1

災害時には防災行政無線でお知らせします

災害の発生が予測される場合や、災害発生時に的確な情報を町民のみなさんにお知らせするため、防災行政無線を整備しています。

町内44か所の屋外スピーカーの他に、各世帯に個別受信機を設置し、速やかに情報を伝えられるように整備しています。



Point 2

災害備蓄品を整備しています

町では、避難者数4,000人を想定し、3日分の飲料水・食料などを備蓄しています。

また、指定避難所として指定している小学校等には防災倉庫を設置し、資機材などを保管しています。

Point 3

津波避難タワー建設や津波避難ビルを指定しています

津波対策として、津波避難タワー建設や津波避難ビルの指定をします。防災マップなどで場所を確認しましょう。

NO	施設名称	所在地
1	テンドーヴィラ九十九里	屋形5025-3
2	セザールマンション	尾垂イ3513-39
3	光楽園老人ホーム	木戸9628-9
4	津波避難タワー	屋形5275-14
5	白浜小学校	木戸1334



▲津波避難タワー